

7月25日(火)発行

MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

# ほぼ 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



7/23 サマーナイト・ジャズ 宮本貴奈ホールアドバイザー就任記念スペシャル!

## 豪華で強力なゲスト陣と共に 宮本貴奈の魅力全開!



©藤本史昭

夏の夜にはジャズが似合う。「フェスタサマーミュージック KAWASAKI 2023」の第2日目は「サマーナイト・ジャズ」で、宮本貴奈(たかな)のホールアドバイザー就任記念スペシャルとして、開演からアンコールまで含めて、ほぼ3時間にわたるスペシャルな夏の一夜となった。

ピアノ、ヴォーカル、作・編曲に大活躍の宮本貴奈が牽引したが、日本のロック&ポップス界のレジェンドたち、本田雅人、エリック・ミヤシロ、中川英二郎というジャズ界を代表する音楽器奏者、宮本とアコースティック・デュオ・ユニットを組むギターの小沼ようすけという豪華

メンバーが加わり、さらに日本在住のふたりの海外生まれのジャズ・ミュージシャン、パット・グリーン(ベース、アメリカ出身)とデニス・フレゼ(ドラムス、ドイツ出身)がどっしり音楽の土台を支えるという、豪華で強力な布陣だった。

第1部はH・アーレン作曲の名曲「Over the Rainbow」が、宮本がもともとは琴のために書いた「Rainbow」へ繋がるなど、アレンジの冴えも。第2部ではビル・ウィザーズが歌った「Just the two of us」を佐藤竹善が歌い、八神純子が自作の「みずいろの雨」などを披露。デヴィッド・ボウイの名曲

「Life on Mars?」ではSUGIZOがエレクトリック・ヴァイオリンで共演した。

第3部では今年の2月に亡くなった巨人バート・バカラックの名作の数々を繰り出す。本当にバカラックの傑作は尽きない。アンコールに坂本龍一の楽曲、また全員で「What a wonderful world」(サッチモ作曲)を演奏するなど、多様なアンサンブルで魅了してくれた。これからの「かわさき JAZZ」、来年の「サマーナイト・ジャズ」への期待が大いに高まるコンサートだった。

(片桐卓也/音楽ライター)



宮本貴奈と豪華出演者&ゲスト陣

### ご来場者様の声

excellent!! の一言です! これだけのメンバーが集まったのも貴奈さんの人徳かと。(60代・自由業・summer\_has\_come!)/ 曲目や出演者で場面ががらりと変わり、その場を自分のものにする、まるでカメレオンのようなステージで、見ていてワクワクしました!(10代・学生・ようかん) / SUGIZOのギタリスト以外の一面が見れてよかったです。佐藤竹善はSING LIKE TALKINGのイメージが強いですが、ジャズボーカルにとってもマッチした歌声でした。(50代・会社員・Fusion Lover) / 変化にとんだ三部構成、豪華なメンバーですばらしいコンサートでした。第3部が、先頃亡くなったバート・バカラック特集なのもすばらしいです。バカラックの曲の魅力を改めてしみじみと感じました。(60代・無職・みっちゃん) / 貴奈さんのやりたい音楽を思い切り楽しんでいて、やりたい放題なのが、とてもとても良かったです。そして豊かな音響のホールが幸福な気持ちにしてくれた。(60代・会社員・キヨシ) / ミュージア川崎シンフォニーホールがこれ程素晴らしい所とは、会場に着くまでは想像もしていませんでした。SUGIZOさんのFacebookで知りまして、彼がヴァイオリンを演奏する機会は余りなくて、それが見たい聞きたいと思い、遠い名古屋から来た訳です。(中略) わざわざ来たかがありました。有り難う Peace&LOVE (70代・huimei 1182 IMEGUMI)

Next! サマーミュージック 明日のチケット情報

サマーミュージック LINEスタンプ 好評発売中!

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 新時代の先駆者たち~アメリカン・オールスターズ~ 7/26(水) 15:00 開演 (14:00開場)

会場：ミュージア川崎シンフォニーホール

プレトーク (14:20~14:40) [料金] S¥4,000 A¥3,000 B¥2,000 出演者によるプレトーク U25:各席種半額

※本公演と同じお席でお楽しみください。

- ガーシュウィン：パリのアメリカ人
- ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー
- バーンスタイン：『ウエスト・サイド物語』から「シンフォニック・ダンス」
- バーンスタイン：ディヴェルティメント

高関さんからのメッセージだトン!

サマーミュージック × ピアノ vol.2

Tel・Web予約 当日券カウンター ▶ 当日 13:00 まで ▶ 14:00 より



指揮：高関 健



ピアノ：横山 幸雄

当日券あり





## 松居直美が魅せる、新しい「音楽の捧げもの」

この作品が捧げられたフリードリヒ大王は、フルートの名手として有名でした。ある日、大王の宮廷を訪ねたバッハに、大王はテーマとなる旋律を与え、バッハに即興演奏させました。その後改めて曲集として仕上げ、大王に捧げられたのが、今「音楽の捧げもの」と呼ばれている作品です。

全部で13曲で成る音楽の捧げものの中に、《フルート、ヴァイオリン、通奏低音(ヴィオラ・ダ・ガンバ・チェンバロ)のためのソナタ》と編成を指定した作品があります。フルートパートはもちろん、フリードリヒ大王を意識して書かれたのでしょう。大王から与えられたテーマを見事に絡めて構成された作品なのですが、とても難しく作られています。

与えられたテーマは八短調なのですが、これはフルートにとって、とても響きにくい調なのだそうです。大王は演奏技術があるからこそ、あ

えて演奏しづらい調を選んだのでしょうか。そして、そのテーマを見事に料理し、捧げものとして完成させたバッハ。その二人の関係性や裏にあった物語を想像するだけでもわくわくしてきます。

今回のコンサートでは、ホールアドバイザー松居直美がオルガンを演奏する他、バロック界の第一人者ともいえるメンバー、前田りり子(フルート)、寺神戸亮(ヴァイオリン)、上村かおり(ヴィオラ・ダ・ガンバ)、曾根麻矢子(チェンバロ)が登場します。さらに、フリードリヒ大王とバッハの物語や、その音楽の世界を、マンガノマシップがマイムで表現します。

マンガノマシップは2人のマイムユニットで、2020年2月にミュージアに初登場。マイムの巨人マルセル・マルソーの元で培った確かな表現技術と、二人のすばらしい芸術的センスで、色彩豊かな

フランスのオルガン音楽が視覚的にも表現され、大変な好評を得ました。

ただの「音楽の捧げもの」ではない、新しい世界が、ミュージアにやってくる予感です。ぜひお見逃しなく!!! (事業・も)



パイプオルガン：松居直美



マイム：マンガノマシップ



### ホールアドバイザー松居直美企画 言葉は音楽、音楽は言葉 Vol. 5

2024年2月17日(土) 14:00 開演

パイプオルガン：松居直美  
マイム：マンガノマシップ  
フルート：前田りり子  
ヴァイオリン：寺神戸亮  
ヴィオラ・ダ・ガンバ：上村かおり  
チェンバロ：曾根麻矢子

【料金】 調整中

【発売日】

友の会先行 10/10(火)  
Web会員 10/13(金)  
一般発売 10/18(水)

■J.S. バッハ：音楽の捧げもの BWV1079



パートナーショップのご紹介  
エンジョイ!  
川崎!!  
Enjoy Kawasaki



(左)ケバプロール ガーリックソース  
(右)ケバプサンド オリジナルソース

## ガッツリなのにヘルシー!な、やみつきケバブ!

「Happyケバブ」に行ってみましょう!川崎駅西口から歩いて5分のところにお店があります。

ケバブサンド オリジナルソース500円(写真右)とケバプロール ガーリックソース 600円(写真左)をテイクアウト!

外国から来た店員さんが巨大串刺焼肉をシュシュッと削って、ナンみたいな生地に肉ポンポン、野菜ざくざく入れて、くるくる巻いてくれます。

「アツィネ〜。大変でしょう?」「ダイジョーブ。ナレテルヨー。」とか話してる間に出来あがり!

ガッツリ!でもあっさりでうまい。しっかりタンパク質を取りたい方におすすめです。(舞台・竹内)



Happyケバブ

川崎駅西口周辺

パートナーショップ特典

ケバブ肉増し ※優待券持参者のみ

僕たちのナイスなサマーミュージアグッズを販売中だよ♡

販売場所：ミュージア川崎シンフォニーホール内「ショップ」1・2Fホワイエ

価格：クリアファイル：¥300(税抜) ¥330(税込) ぷせん：¥455(税抜) ¥500(税込)

フェスタサマーミュージア公式サイト  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージア  
#お待ちどうサマー♪  
で検索 & 投稿  
お待ちしております!



Twitter : @summer\_muza  
Facebook : @kawasaki.sym.hall  
Instagram : @muzakawasaki



サマーミュージア最高でした。  
(タフフィックアーティスト左右田薫)

実はビジュアルを担当してから、初めてサマーミュージアのコンサートへ伺いました。クラシック音楽は画家として活動する際、作品を描く時にはよく聴いています。いつか、この会場でクラシック音楽を聴きながらライブペイントをしたいです。

ここ数年、偉大な音楽家が現代で夏休みしているビジュアルを担当させていただき、音楽好き、夏好きの僕にとって大変光栄でした。そして会場には装飾の他、グッズやLINEスタンプまで至るところに絵を使って頂きまして本当にありがとうございました。

LINEスタンプは僕のまわりの音楽好きな方も沢山の方が購入して使ってます。

スタッフ日誌